

一 近年の日本中世村落史の研究動向について記しなさい。

二 次の文書は京都の東寺の文書である。この文書を読み、以下の設問に答えなさい。

東寺領丹波国大山庄・播磨国矢野庄例名方・若狭国太良庄段銭以下課役事悉所免除也、早可令為守護使不入地之状如件、

永享六年三月二十六日

左大臣源朝臣(花押)(足利義教)

- (一) この文書の本文を読み下しなさい。
- (二) この文書の本文を解釈しなさい。
- (三) この文書の文書名を記し、文書の形式について説明しなさい。
- (四) 文中の「段銭」とは何か、説明しなさい。
- (五) 文書の署名者である足利義教について説明しなさい。

三 次の語句について説明しなさい。

- (一) 御成敗式目
- (二) 晋舟
- (三) 半済
- (四) 永楽銭
- (五) 検地